



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
OCT.2022

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

先日、COP事務局から報告された内容では各国が温室効果ガスの排出削減目標を達成したとしても、今世紀末までに気温が産業革命前より約2.5度上昇するとの内容であった。パリ協定では平均上昇温度幅を1.5度に抑える努力をすとしてしているが、今のままでは実現するためには更なる削減が必須である。昨年のCOP26前に各国への目標引き上げ要請があったが、長期目標と合わせて2030年の目標すら出せていない国が大半である。ロシア問題で一時的に化石燃料の使用が増えているが、将来的には省エネや再生エネルギーの増加が見込まれると思う。そのための設備投資が進んでいるが、現状の半導体供給問題が落ち着かないと設備生産ができない状況を理解し計画的な供給体制を実現していく必要がある。こういった取り組みが気候変動緩和につながることも考えて日々の対応を続けていきたい。

サンシン電気株式会社
取締役 河原 崇

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

サンシン電気は10月より新たな期がスタートしました。コロナ禍だけではなく、各地での異常気象、自然災害、紛争、劇的な為替変動等々、今期も多くの難題に立ち向かっていかねばなりません。こんな時こそグループの結束を強化し難局を乗り切って参りましょう。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

A lot of mainstream cleaning products containing detergents, preservatives, or foaming agents are made from various toxic chemicals that wash up into streams and rivers, causing water pollution that enters ecosystems and damages biodiversity. Switching to products that contain sustainably grown or raised ingredients and non-synthetics reduces the risk of exposure to toxic chemicals that are harmful to humans as well as the environment. You can also easily make your own natural cleaners by mixing vinegar, lemon juice and bicarbonate of soda. This is a sustainable and cheaper alternative that reduces toxic chemicals and packaging waste in your home. (V.C.)

CSI

セブの季節は雨期と乾期があり、雨期は6月～10月・乾期は11月～5月になります。最近スコール・ゲリラ豪雨が多いと感じます。特に夕方や夜なのですが、気温差がありますので、風邪を引かないように気を付けております。(K.S.)

SANSHINWest

最近、コンビニの値下げ商品やスーパーの棚の空スペースが目にとまります。フードロス(「作る責任」と「使う(食べる)責任」のバランスが原因ですが、日本は世界的に見てもお店の商品が潤沢に並びすぎなのかもしれません。資源が底をつく、いつか買えなくなる、なんて事は想像し難いかもしれませんが、買いたくない棚は気にせず、数日で消費できるものなら手前から手に取れば良いと思う今日この頃です。(N.K.)

SHINKOWA

現在の季節は秋ではなく初夏と初冬が繰り返しているような、不思議な季節になりました。この不思議な季節が原因なのか、よく体調を崩すことが増えたように感じます。コロナウイルス以外に、インフルエンザも流行る季節になってまいりました。服装なども、暑い日の次の日が寒い日に薄着の格好で外出しないように、体調管理を万全にして過ごしていけたらと思います。(H.K.)

SC2

昔ながらの建材「漆喰」。日本では1300年以上前から築城に使われ、消臭・調湿・防カビ等の機能に優れています。人工香料はいったん付くと特殊清掃でも消せませんが、しみ込んだ壁に漆喰を塗ると、あの臭いを消すことができます。100%天然素材であれば化学物質過敏症の方でも使える、日用品公害時代の救世主なのです。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

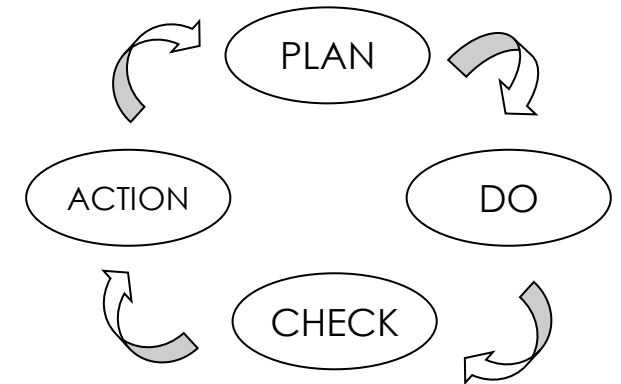
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



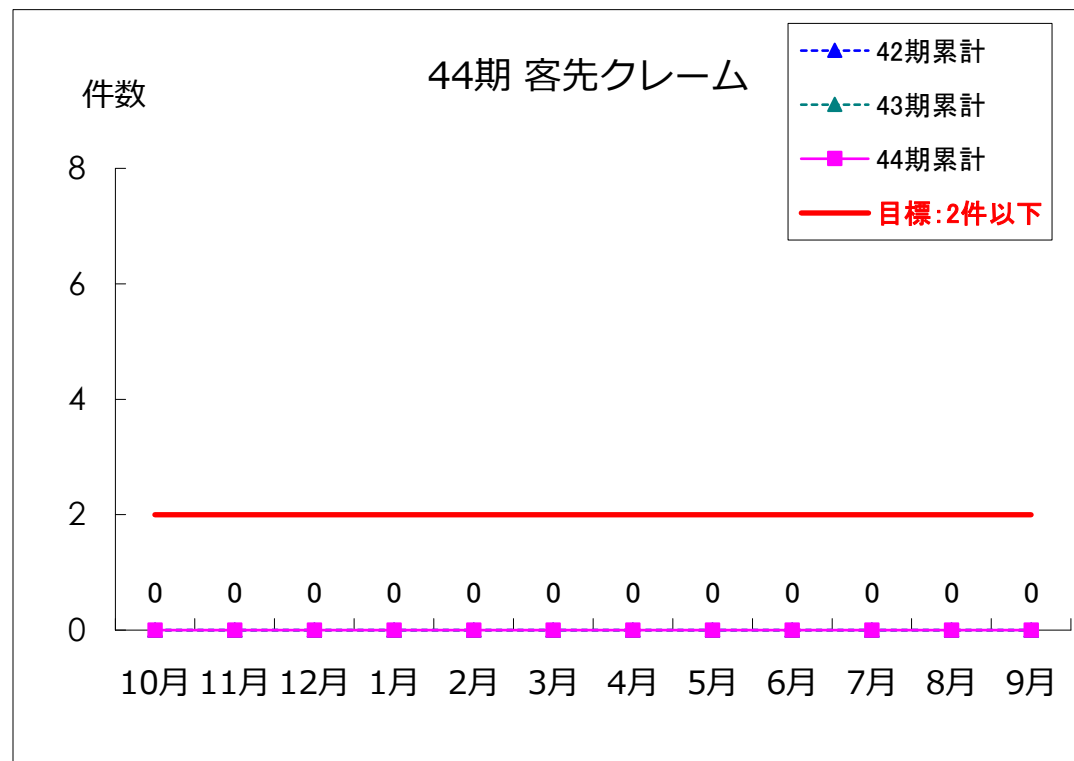
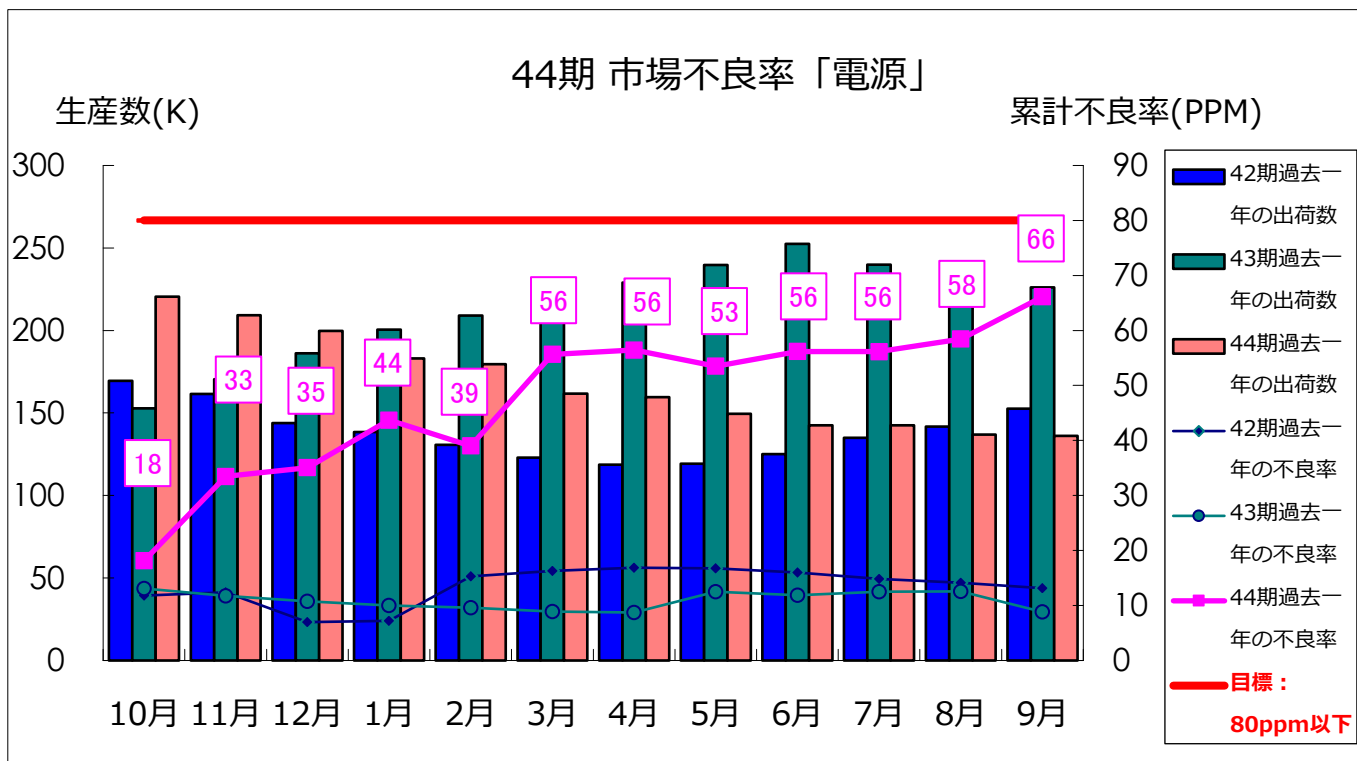
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 44期の累計不良率(解析依頼含む) : 60ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■ 何で予定フライトに載らない？ 航空機の離陸重量のハナシ

この前は載ったのに、今回は載らなかった。いつもは載るのに、今日は載らなかった。ある時期になると、全く載らなくなる。

航空貨物の出荷手配で、こういった経験、ありませんか？

搭載予定貨物が多かったといえはそれまでですが、フライト毎に載せられる貨物量は毎回異なります。旅客機を中心に通常の手順ではどのような要素で搭載貨物量が決まるのか簡単にご紹介します。

☑ 最大離陸重量

航空機には、これ以上重いと離陸できない「最大離陸重量」が設定されています。この最大離陸重量を超えてしまうと、そもそも離陸できないため航空機を動かすことができません。フライト時には諸条件を考慮した「最大許容離陸重量」が設定され、離陸重量を最大離陸重量以下に収める必要があります。なお、長距離国際線で使用されるBoeing 777-300ER型機の最大離陸重量は約350トンです。



出所：商船三井ロジスティクス株式会社HP

機体自体の重量は約160トンですので、何も制約がない場合、残りの200トン弱を乗客・貨物・燃料で分け合うこととなります。

旅客機の場合、燃料と乗客がまず優先され、残った枠に貨物を載せられるだけ載せていきます。ここにも優先順位があり、①乗客の手荷物、②Priority料金が適用する貨物、③その他貨物となっています。

この優先順位を活用したものが緊急輸送サービス「ハンドキャリー」です。これは、乗客の携帯貨物として航空機に搭載し、到着空港の税関窓口で業務通関を行うことを意味します。ちなみに貨物機の場合、乗客はおらずフライト時間が多少伸びても問題ないため、貨物量を優先し燃料を減らした結果途中で給油する飛行計画となっているものもあります。

今月のTOPICS

☑ 燃料搭載量

貨物搭載量が減る原因として、他に「燃料搭載量」の変動も要因の1つとされます。どれだけ燃料を載せるかというのは、フライト毎の天候等に左右されます。例えば太平洋を横断飛行するフライトの場合、偏西風の強さや位置によって必要な燃料搭載量が異なります。同じ発着地でも東行き、西行きによって偏西風の影響で必要な燃料が全く異なります。また、目的地の天候が悪い場合も、燃料搭載量を増やさなければなりません。離陸する際には、目的地までの燃料+αを積んでいくわけですが、目的地悪天候の場合、着陸待ちや代替着陸地までの飛行も考えいつも以上に燃料を搭載することになります。

地政学的影響を受ける場合もあります。今年3月に欧州便の飛行ルートがロシア上空を回避する大回りの経路に変わり、燃料搭載量が増えました。その影響で大量の滞貨が発生したのは記憶に新しいところです。

☑ 最大許容離陸重量

最大離陸重量はカタログ的に決まっていますが、フライト毎には「最大許容離陸重量」が設定され、これが最大重量となります。最大離陸重量から以下の要因を考慮し引き算で算出されます。

◆滑走路長

◆天候（滑走路が濡れているか、積雪量、風向・風力、気温）

これは、離陸中止した際に滑走路内で止まれるかが基準になっています。滑走路が短ければ、ブレーキに使える距離も短くなりますので、短い距離で離陸速度まで加速する必要があり、加速力を上げるために機体を軽くしなければなりません。滑走路が濡れている、積雪があった場合は制動力が下がりブレーキ距離が長くなりますので、加速力が重要になります。その他にも、気温が高い、空港自体が標高の高い位置にある場合は、エンジンの性能が落ち、加速力も落ちますので、同様に機体を軽くしなければなりません。

予定のフライトに貨物が載らないと、不便を感じる事もあると思いますが、一方で現場の方々には安全第一の上で、一つでも多く貨物を搭載できるよう、日々調整して運航されているのです。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



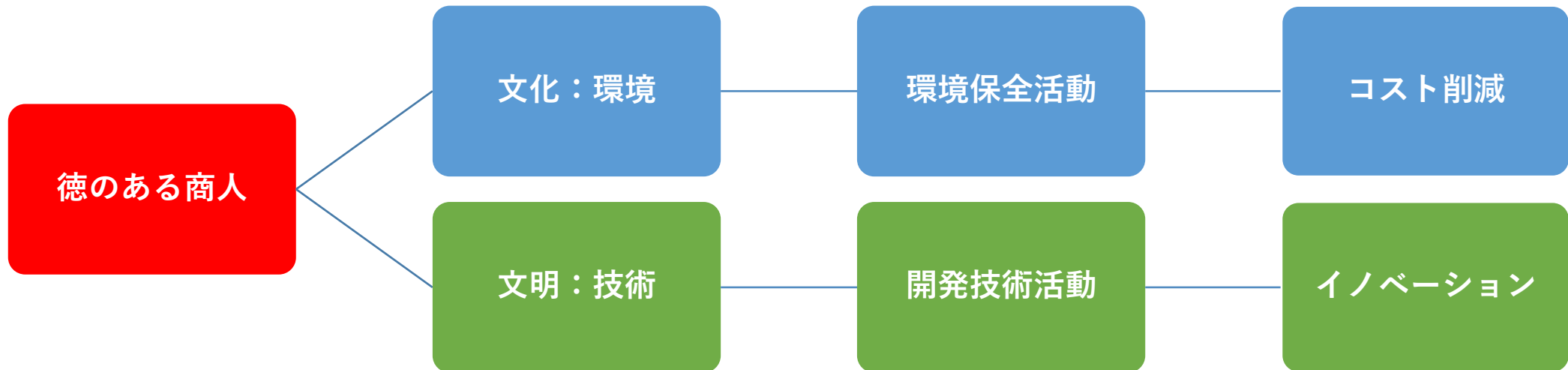
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

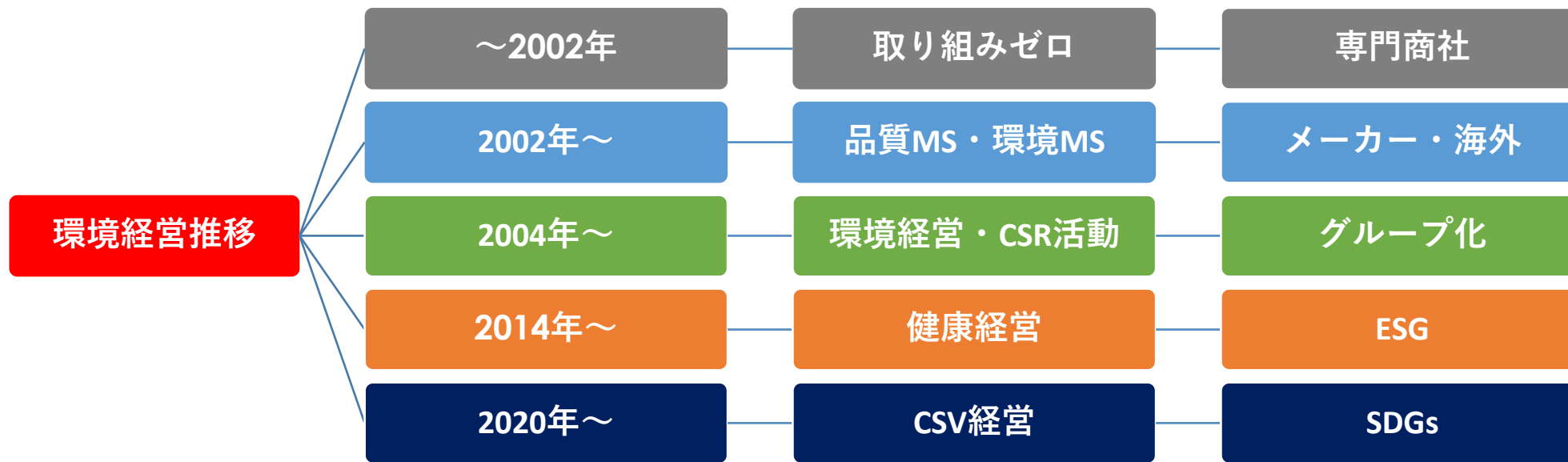
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

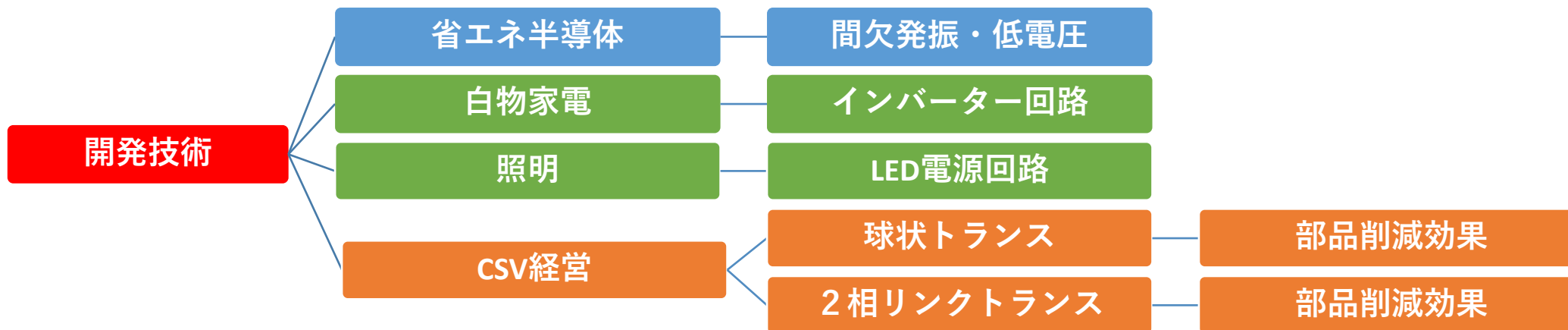
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！

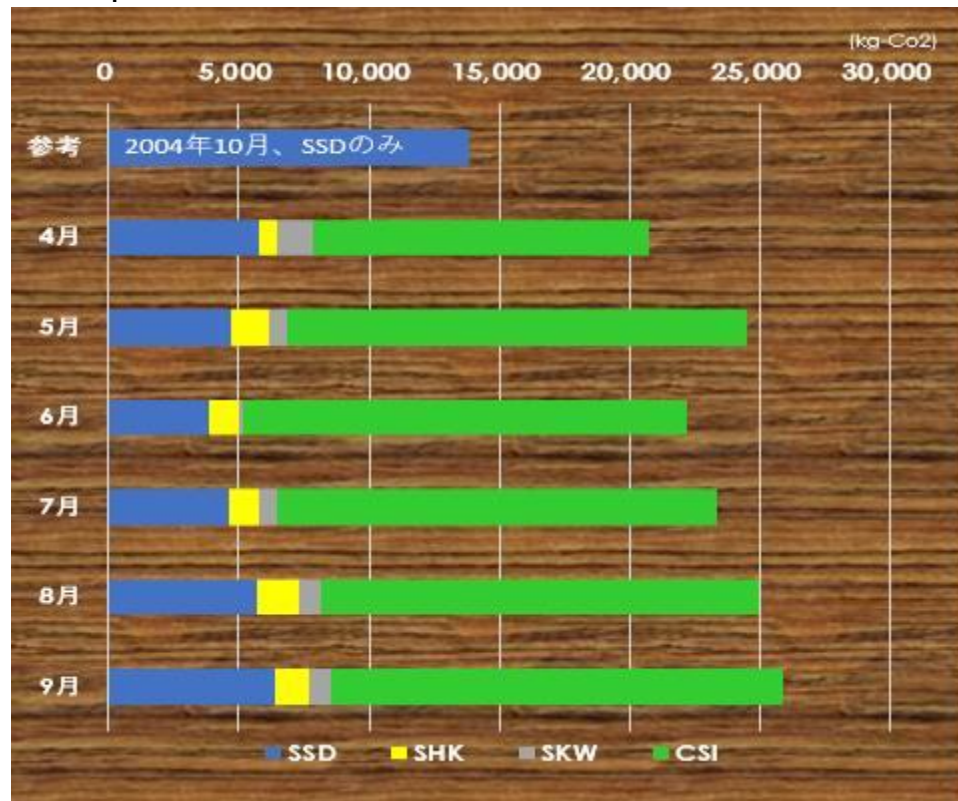


活動報告

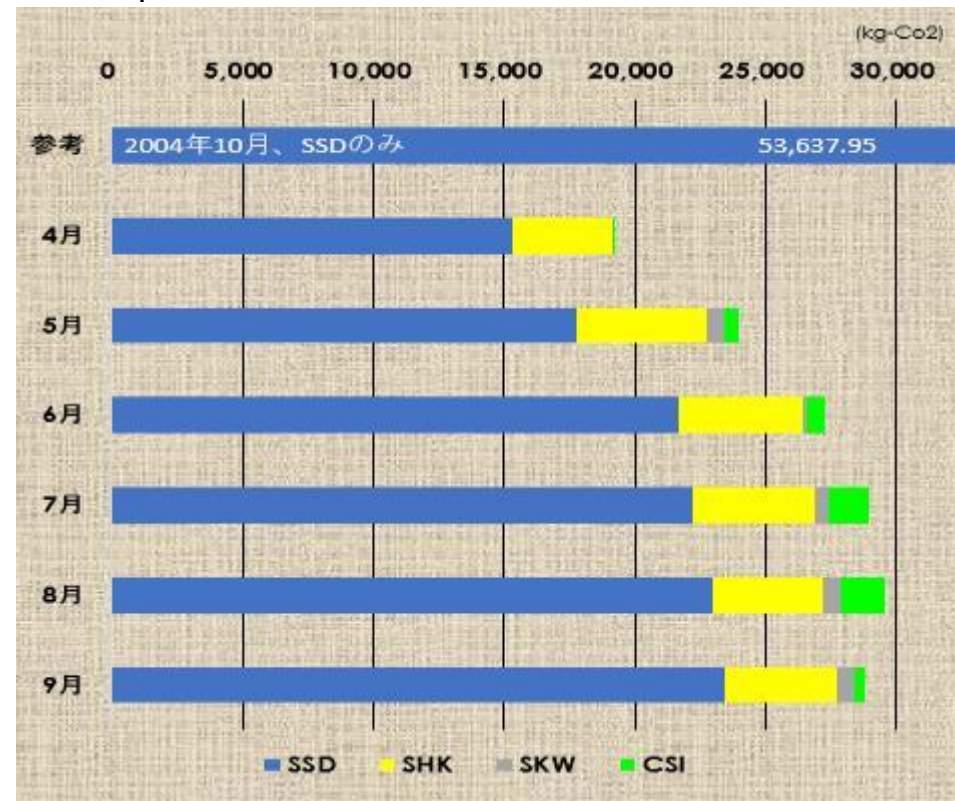
- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

SSGサプライチェーン排出量

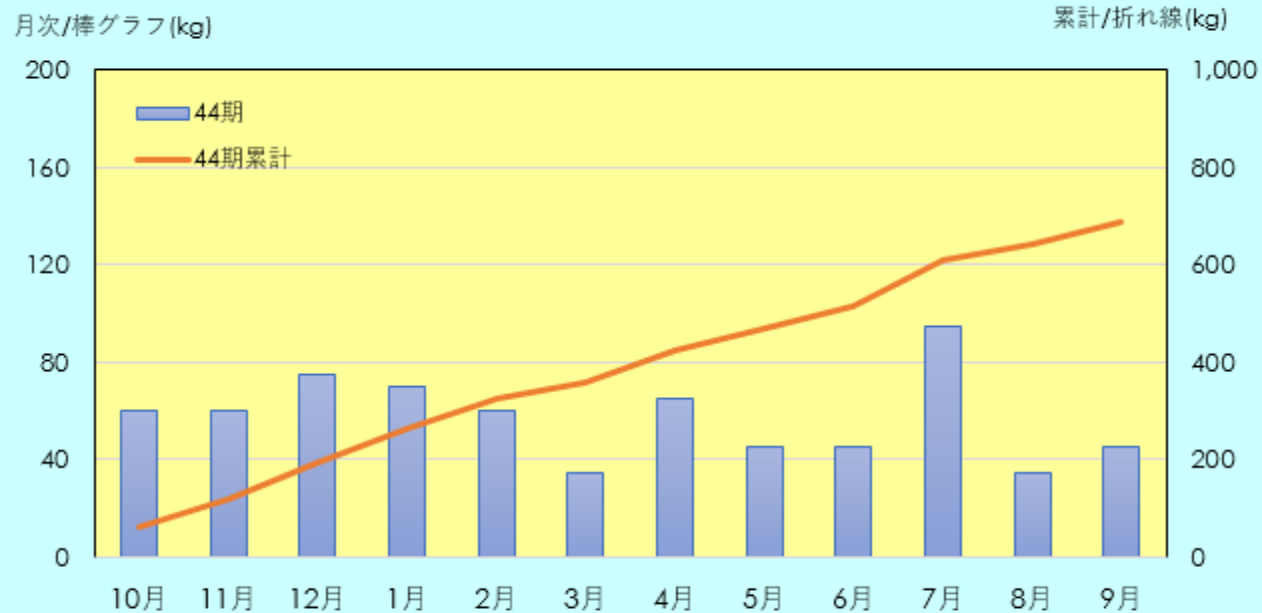
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



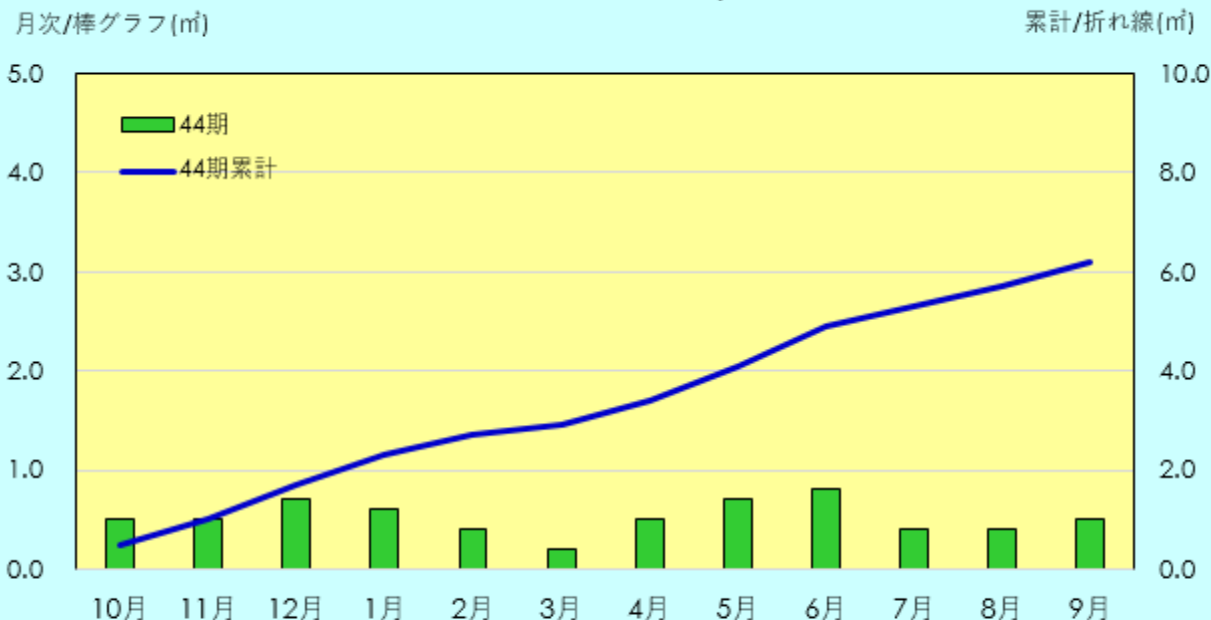
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



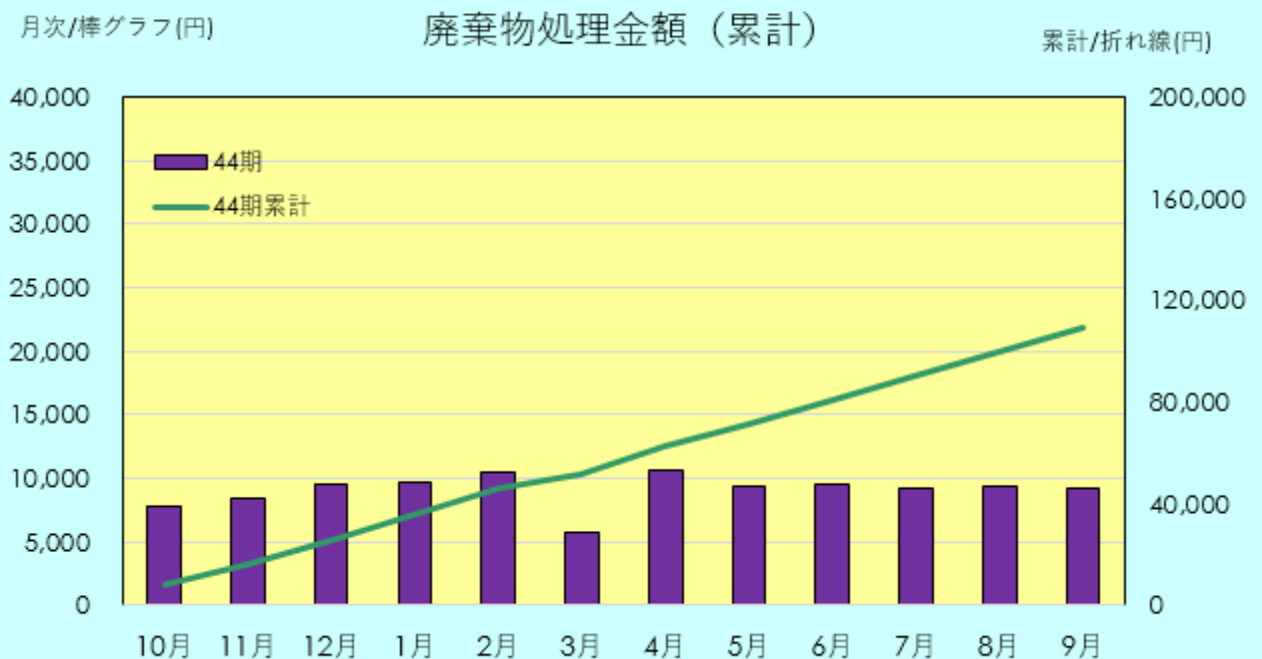
一般廃棄物 (SSD/本社)



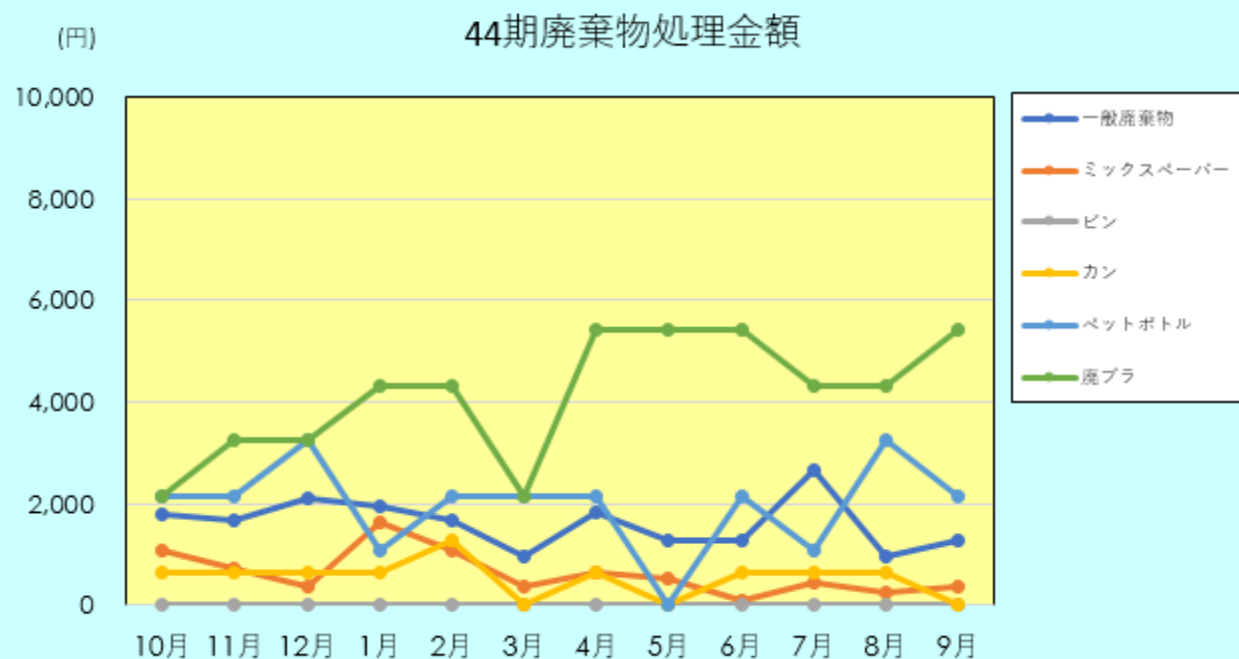
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



廃棄物処理金額 (累計)



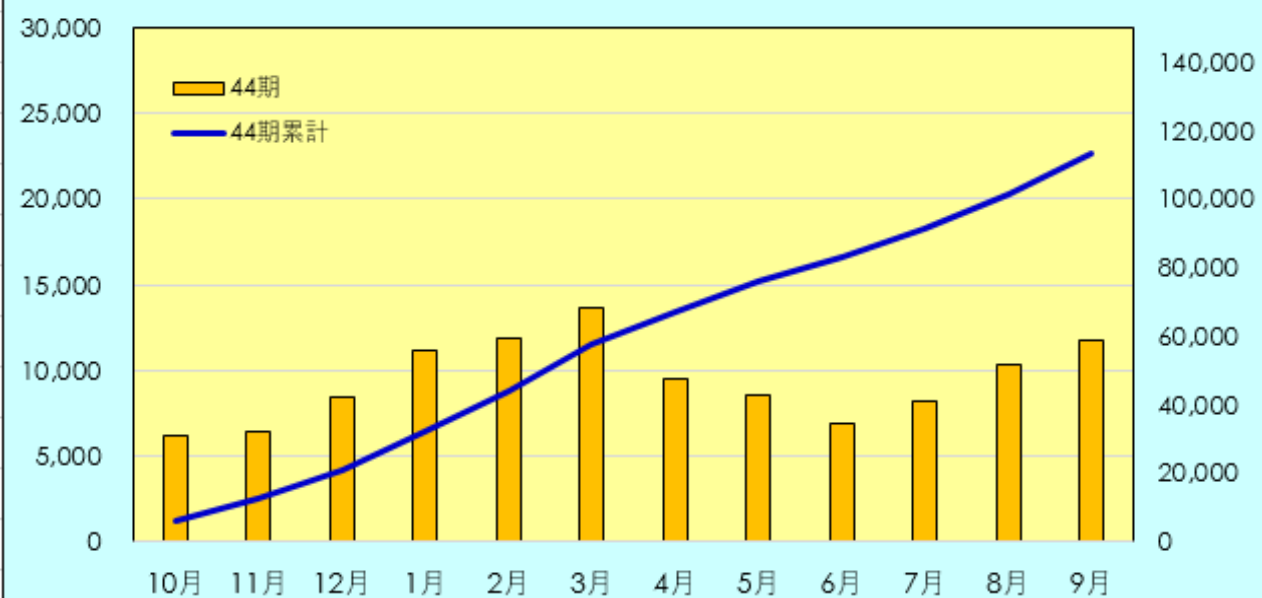
44期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

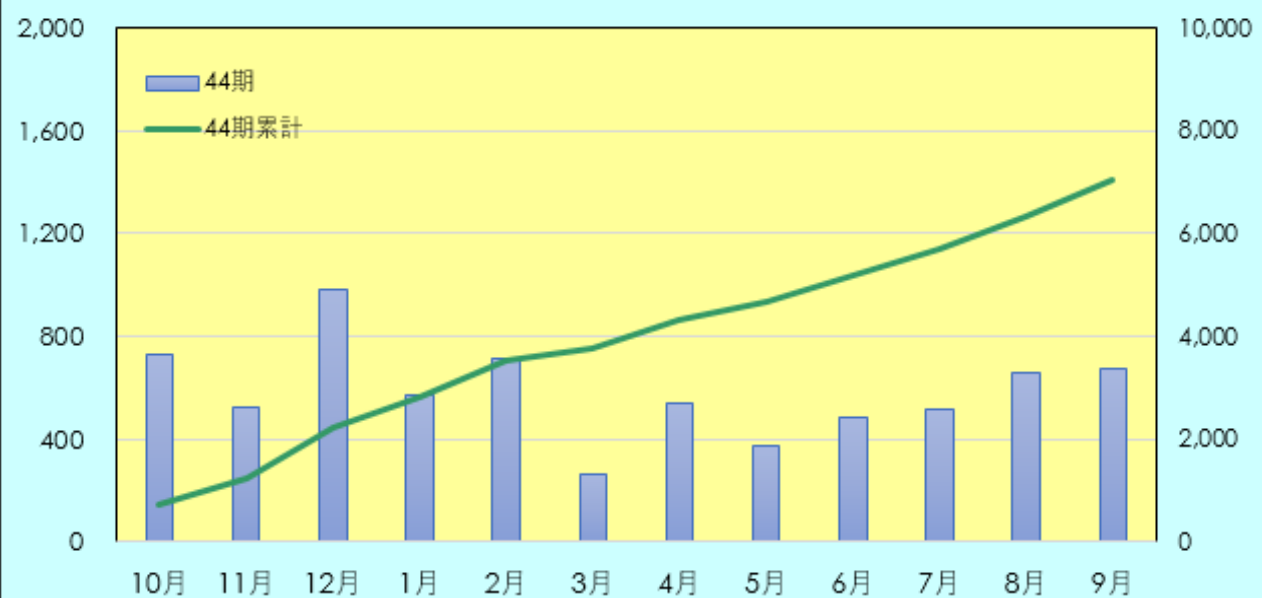
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

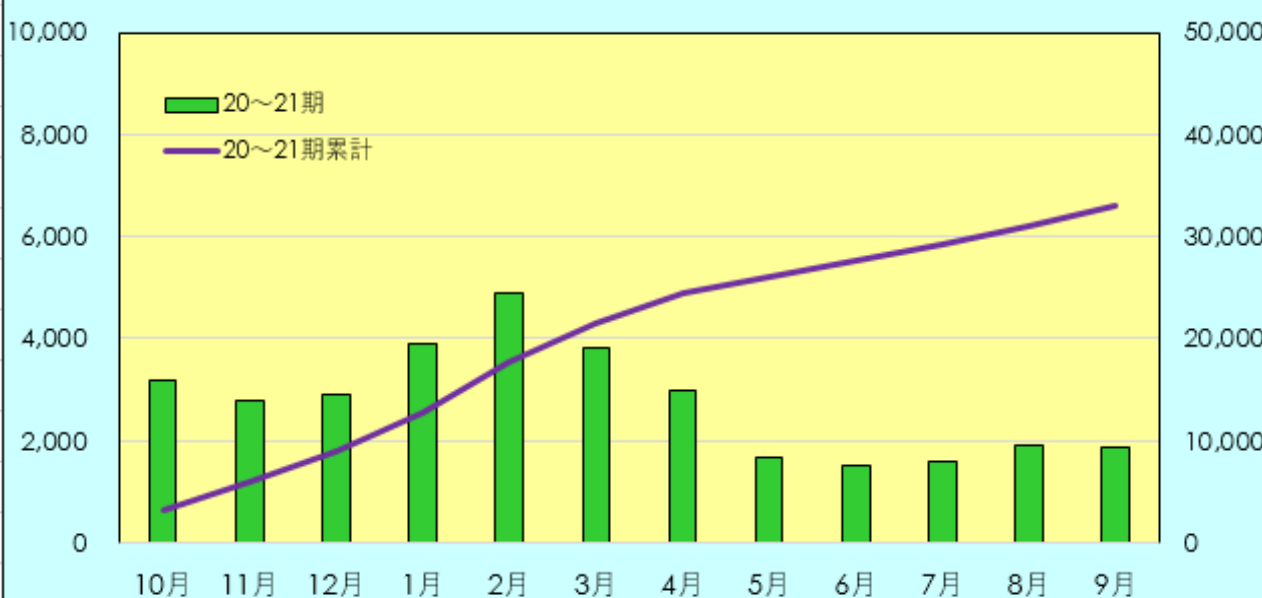
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

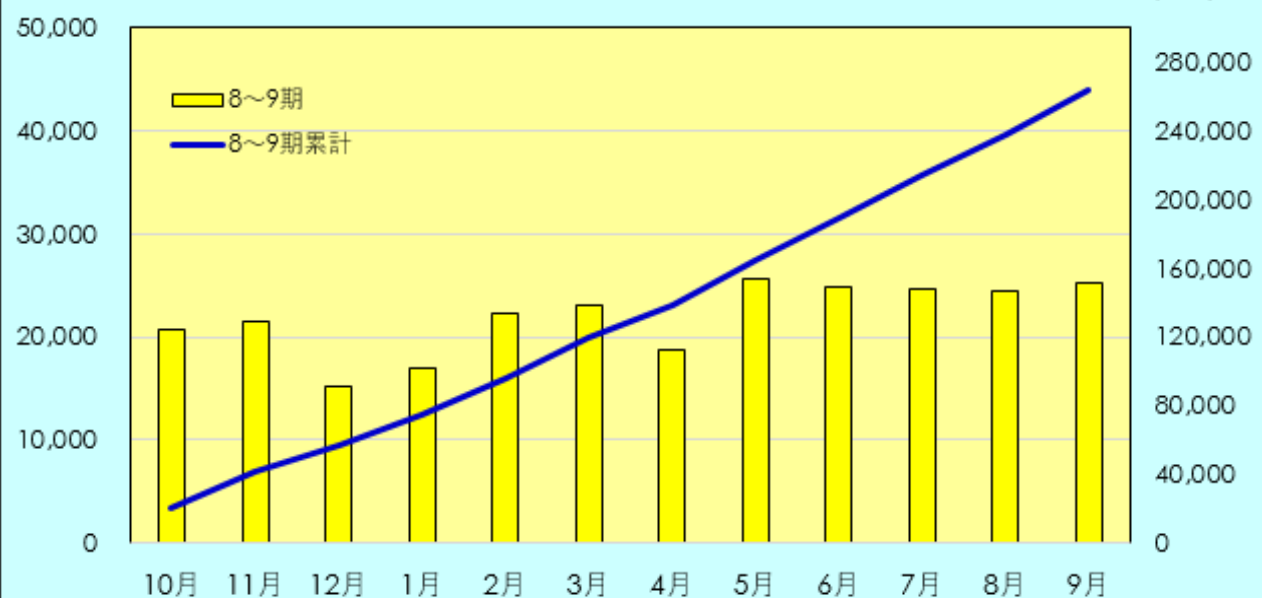
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●週末は“マルシェ”に行こう！



みなさん、マルシェに行ったことはありますか？作り手の思いがこもった品を、作り手の顔を見て交流を楽しみながら購入できるマルシェは都内でも人気が高まっています。株式会社ミタスライフでは、月に2回 都内のマルシェに出店しています。

- ・ **ヒルズマルシェ 会場：アークヒルズ**（六本木一丁目駅 徒歩1分）

<https://www.arkhills.com/hillsmarche/>

- ・ **TOKYO TORCH Market 会場：TOKYO TORCH Park**（大手町駅 徒歩1分）

<https://tokyotorch.mec.co.jp/events/1616-2/>

11/5(土)と11/19(土)はヒルズマルシェに出店いたします！新鮮で安心安全なお野菜を用意してお待ちしております！ペット同伴可です🐾（サンシングループ関係者様はサービスいたしますのでお声掛けください♪）

～洗剤やシャンプー等で無香料無添加生活をしている方に粗品を進呈中🍷～



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（9月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 家庭犬1年生から学べる「ドッグライフアカデミー」を創設。
アカデミーを通して、社会貢献できる人と犬の育成を目指しています。
- 学習塾において生徒のコーチング+学習支援事業を実施（ミタスライフ）

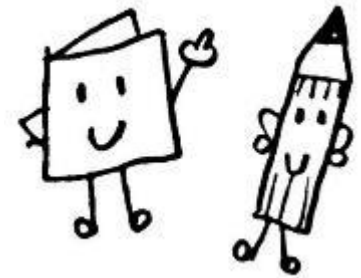


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

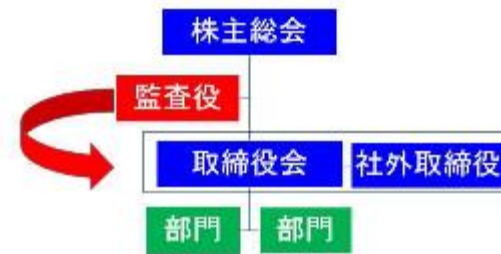
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



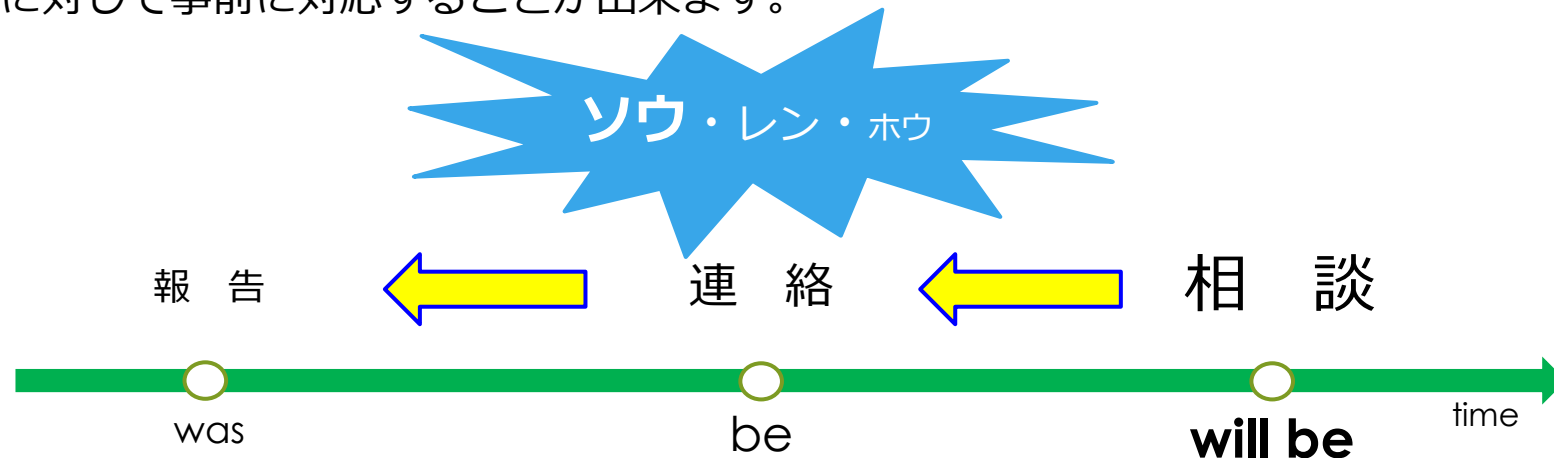
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

サンシン電気は45期がスタートしました。相変わらず世界情勢は不安定で、予断を許さない状況が続いています。刻一刻と変化する状況に常に最善手を打てるよう、日々のソウレンホウを密に、先手先手で乗り越えていきましょう。今期もどうぞ宜しくお願い致します。